

vol. **63**
March 2024

ファーラ

F a l a



- P2 若き1ターン起業家に聞きたいまちづくり
～未来へつながる探究教室ESTEM (エステム)～
- P4 「まち、わたし、きらめく Women's Campus 山形」 1期生
土屋しお美さんに聞きたい女性活躍について
～自分がワクワクする道を選ぶ～
- P6 まち、わたし、きらめく Women's Campus 山形
- P8 令和5年度ファーラ開催講座
- P10-11 男女共同参画に関するお知らせ
- P12 男女共同参画に関する一行詩審査結果



「ファーラ」は、山形市男女共同参画センター
の愛称です。
「ファーラ」Falaとは、Female(女性)とala
(翼)を組み合わせた造語です。

若きIターン起業家に聞きたいまちづくり

未来へつながる

探究教室

ESTEM (エステム)

おお
がき
たか
ひろ
さん

PROFILE

横浜出身で、東京大学文学部を卒業後、山形にIターン。起業し、地域おこし活動を行う。現在は、南陽市でカフェの経営と、山形市と米沢市で探究教室を開校。アプリ開発を行うシステムエンジニアでもある。地域を活性化していくためには子どもたちの教育が大事であり、学ぶ面白さ、自分で感じる楽しさを伝えていきたいと願い、日々奮闘されている。

探究教室 ESTEM 塾長

運営会社 株式会社山のむこう代表

やまがたクリエイティブシティセンターQ1 (キューイチ) に2023年4月、探究教室ESTEM山形校が開校しました。成績を伸ばすための学習塾ではなく、子どもたちが熱中するものを見つけ、大人顔負けの実践を行う探究教室です。塾長である大垣敬寛さんは山形県に魅力を感じ、10年前に移住されてきました。

近年、若者の山形市外への転出超過が課題になってきています。性別にかかわらず誰も活躍し、地域の活力を維持・向上していくため、若きIターン起業家の大垣さんに、探究教室とまちづくりのつながりについてお話を伺いました。

● 山形に移住されたきっかけは？

大学時代に就職活動し、内定をいただいた企業はあったのですが、仕事に興味を持って取り組む人が少ない、仕事はお金を稼ぐ手段と考える人が多いと感じ、内定を辞退しました。

そんな時、南陽市に住む知り合いからまちづくりを手伝ってほしいと頼まれ、在学中にアプリ開発をしていて、パソコン一台あればどこでも仕事ができると思っていたので、その話に乗ってみることにしました。当初は二週間で帰るはずが、山形の方が住みやすいと感じ、住み続けることになりました。

● 探究教室ESTEMとはどんなところですか？

興味を見つめる体験コース、興味を広げる探究コース、興味を形にする力を身につける実践コースなどがあります。

子ども一人ひとりが興味を持つ分野は違うので、

様々な分野で面白いことを伝えていきたいと思っており、身近なものや時事問題、スタンプそれぞれの興味・得意分野からアイデアを出しています。また、地元の方に授業を行ってもらうこともあります。

大人自身が面白いと感じることが大事だと思っていますので、大人が楽しく学ぶ姿を伝えていければと思っています。

● どうして探究教室ESTEMをつくったのですか？

まちづくりに参加する人たちのワークショップで「あなたは何レンジャーですか？」と聞いたことがありました。サポーター役のブルー、取りまとめ役のグリーンはいましたが、リーダー役のレッドはゼロでした。誰かがやるのであれば手伝うという方が多く、リーダー不在でバランスが悪いと思いました。誰かが始めないと何も始まらないし、やりたいことを考えて何かを始めることは楽しいはずなのに…。

また、高校生や大学生と話をしたところ、これまで自由に意見を出させてもらう場がなかったと言われたことがあります。レッド的存在がいなのは、小さい頃から主体的に取り組む機会がなかったからではないかと思いました。

そこで、子どもたちが自由に自分の好きなことを形にしていく、好きなことに挑戦でき、実行していくチャレンジの場を作りたいと思いました。

はじめは、人工知能(AI)教材を使って効率的に勉強することで時間を短縮し、余った時間で興味をそそる活動をしようと思っていました。しかし、勉強が嫌いな子に無理やり勉強をさせるよ

り、好奇心をそそる探究に力を注ごうと決め、今の探究教室ESTEMとなりました。

以前、米沢校を全国テレビで取り上げてもらった反響が大きく、その際、山形市内の方からの声が多かったので、山形校を開校することになりました。

●南陽市熊野大社境内でのカフェ経営がESTEM開校のターニングポイントだったとか？

カフェをやりたいかっただけではなく、若者が集まり、交流が増える場所を作りたいと思いました。クラウドファンディングで資金を集めたのも、地元の方々にも関わってもらいたいと思ったからです。カフェをオープンしてからは、置賜産のワインの飲み比べや、ワインを料理と合わせてみるイベント、AIに関する講座なども開催しました。



●地元の方との人脈はどうやって作りましたか？

最初に、まちづくりに誘ってくださった方が何人か紹介してくれて、その人たちがまた紹介してくれて、人づてにつながっていききました。カフェの資金集めのクラウドファンディングやその後のカフェの取り組みなどでもお声がけさせていただいたこともあり、多くの人とつながることができました。

●趣味はヴァイオリンと伺っていますが…

仕事ばかりやっていると思われがちですが、自分の中ではうまくバランスがとれています。人の気持ちを考えて取り組む仕事もあれば、プログラミングなど一人で集中して取り組む仕事もあり、それぞれ別の仕事の良い息抜きになっています。

●これからの目標は何ですか？

一つめはESTEMの体制作りです。子どもたちにやりたいことが見つかるようにどうやって挑戦してもらおうか、声かけや空間作りなど模索中です。二つめは仙台、福島、東京校など、ESTEMの校舎を増やしていきたいです。山形校を開校してスタッフが増え、できることも増えました。規模を拡大して一校舎あたりで提供するものの質を高めていきたいです。

三つめは子どもたちが経験を積み、自分なりに表現する、価値を生み出すことが大切だと思うので、企業と一緒に取り組み、ベンチャー的な形で課題を解決するなど、自分で利益を出す経験ができるような仕組みを作りたいです。今も単発で企

業と取り組んでいることがあります。さらに増やして、山形県のあらゆる企業と取り組めるようにしていきたいです。新しいことを始める企業が増えていいたら面白そうですね。企業側も変わるのではと思います。

●就職活動で悩んでいる学生たちにアドバイスをお願いします。

「まず、やってみよう！」と言いたいです。自分がやりたいと思っていることがあったら、10年後に…と思わずに、今やってみること。自分が何をやりたいかわからない人は経験が不足しているのだと思います。イベントなどに参加し、いろんな人に出会うことで、新しい考えが別のものと結びつくことがあります。

とりあえず、やってみる！

(編集協力員 山下みどり)



公民連携による女性人材育成事業
「まち、わたし、きらめく Women's
Campus 山形」1 期生
土屋しお美さんに聞きたい女性活躍について

つちや
土屋しお美さん

自分がワクワクする 道を選ぶ

PROFILE

日本語教師や観光関連の仕事を経て、現在は「シェルターインクルーシブプレイスコパル（山形市南部児童遊戯施設）」の運営企業である合同会社ヴォーチェに勤務。3児の母。

女性人材育成事業で得たノウハウを活かし、コパルにおける「ユースセンター」事業開設に携わる。笑顔を絶やさず、前向きにチャレンジする姿は、「山形で輝く女性」を体現している。



「女性が輝くまち山形」を目指し、山形で活躍する女性リーダーを育成する事業に取り組む山形市。その事業の1期生である土屋しお美さんが携わる、生きづらさを抱える若者の居場所を提供する事業「ここくる」。

女性が活躍するには、「自分の可能性を決めつけず、ワクワクする方向に向かって動いてみる」とが大切」と語る土屋さんに女性活躍について話を伺いました。

●「ここくる」はどんな活動ですか？

生きづらさを抱えた小学生から10代の若者（主に不登校・ひきこもり・きょうだい児・ヤングケアラー）のための放課後の第三の居場所です。毎週月・水・金曜日の14時～20時にコパルでオープンしています。ゲームや創作、料理や運動など色々なことに取り組んでいます。また、出店でのお仕事体験やお米の栽培などのプロジェクトワークも子どもたちに大好評です！

家族でも先生でも友達でもない「ナナメ上の関係」のスタッフが、子どもたちが未来に希望を持てるよう、一人ひとりの気持ちや個性を大切に寄り添っています。

●（同）ヴォーチェ入社から「ここくる」立ち上げまでの道のりはいかがでしたか？

前職は、日本語教師や観光関連など、今と全く違う職種でした。結婚して3人子どもがおりまして、第一子・第二子の時は子育て支援センターを頻繁に利用するなどアクティブに子育てを楽しんでいましたが、第三子の時は、コロナ禍で誰とも会えず辛くなることもありました。その時ちょうど

ど周りで産後の学び直しや資格を取る方が多く、その方たちの影響と産後お世話になった方や社会に何か恩返しをしたいと考えたことがきっかけで、保育士の勉強を始めました。そんな中コパルが地元でできることを知り、「絶対にここで働きたい」と資格取得の目標ができ、国家試験にチャレンジし合格、コパルの運営企業である（同）会社ヴォーチェに入職することができました。

現在はコパルの企画運営担当として従事する傍ら、今年度からコパル内に開設したユースセンター「ここくる」の事業も担当しています。

私の入社以前から、ヴォーチェの社業である障がい児者支援の中で、障がいがある方のきょうだいさん達の居場所づくりに着手していたものの、コロナ禍でなかなか活動出来ず…。また、不登校やひきこもり、ヤングケアラーといった生きづらさを抱えている10代の若者たちが安心して過ごせる第三の居場所を創りたいという代表の想いを具現化すべく「ここくる」のプロジェクトがスタートしました。

●「Women's Campus 山形」が与えた影響は？

入職3か月で個人的に参加した「Women's Campus 山形」では、それぞれ年齢や職業も全く違う方と熱く語ることも経験し、一緒に活動する感動もモチベーションになっていきました。あわせて、自分自身の自己肯定感も上がり、楽観的に考えられるようになったと思います。

「Women's Campus 山形」に参加したことによる縁で、ヒト・モノ・カネ・情報の4拍子が揃って



「ここくる」
Instagram



KOKOKURU_YAMAGATA

事業立ち上げのリズムができました。
 「株」Rillover（リディラバ）※1から「カタ
 リバ※2」の助成金についての情報をいただき、
 構想を練っていた「ここくる」事業立ち上げに拍
 車がかかりました。

令和5年3月に3年間の助成金採択が下り、5
 月31日に「ここくる」開設に至りました。

●「ここくる」の現在の利用状況は？

令和5年5月にスタートし、今は約20名の登録
 をいただいています。参加料無料&予約不要なの
 で、通いやすと仰っていただいています。場
 所的に送迎がないと通いづらいとお声もあり、
 月・水・金の週3回開催しています。「家族でも
 友達でも先生でもないナナメ上の大人と関われる
 安心できる居場所」作りを心掛けています。将来
 的に、各地域にサテライト展開やオンラインの居
 場所を提供できるかどうか検討しています。

●アクションをおこしたい、何かやりたい
 方へのアドバイスをお願いします。

パートナーや子どもとの有無に関わらず、自分の
 中に信念を持ち続けることが大事だと思います。
 損得を考えず、まずは動いてみる。私の場合も「ワ
 クワクワすることをしたい」との思いを大切に、ま
 ずは行動できたことが良い結果になった気がします。
 女性の場合特に、結婚・妊娠・出産を経て、求
 人が少ない年齢になると、就職や起業をあきらめ
 てしまうことがあります。私も育児だけで良いか
 など思っていたこともあります。でも、やりたい
 ことをあきらめる必要は全くありません。むしろ、
 子育てという人生最大のミッションを遂行中、も
 しくは成し遂げた女性は、なんだったって出来るポテ
 ンシャルがあると思います。

ただ、力を抜くところも必要です。特に、お子
 さんがいらっしゃる方は、周りの協力も必要です。
 私の場合は、両家の実家が近いということと、夫
 ともお互いの仕事を理解し合っていることが大き
 いです。

また、目標とする人物を追いかけることもお勧
 めします。私の場合、信念を貫き医療的ケア児者
 の支援事業を起業しコパルの運営においても活躍
 している当社の佐藤奈々子代表がその対象です。
 迷い立ち止まったとき、この方ならどう動くかと
 想像することで、勇気が湧きまた行動できるよう
 になります。

まずは、「自分ならもつとできる！」と可能性
 を信じて動いてみることで、協力してくれる仲間
 も必ず見つかります。既婚でも未婚でも、子ども
 がいてもいなくても、人と繋がることで新たな道
 が開けると信じて、突き進みましょう！

◆取材を終えて

自分のこれまでの概念、環境にとらわれることなく、自分と
 向き合い、自分を理解し、自分が楽しめることを見つける。そ
 して、家族や周りの方々に共有する。共有することで、周りが
 動き出す。そこから繋がっていき新しい一歩が踏み出せると思
 いました。まずは、本当の自分を知り、自信を取り戻すことが、
 男女共同参画社会への近道なのかもしれません。
 （編集協力員 大津 藤子）



※1 山形市と「Women's Campus 山形」を運営する株式会社

※2 認定特定非営利活動法人カタリバ

Women's Campus 山形

施しています。

内女性活躍』をテーマに『Action Day』としてイベントを実施し、1月25日にはその成果を発表したい企業の方、一歩前に踏み出したいと考えている女性の皆さん、一緒に活動してみませんか！



山形大学
ダイバーシティ推進室
副室長・准教授
柿崎 悦子 様

“Action Day”で行った活動の発表会を行いました。佐藤市長、資生堂ジャパン株式会社 協様、山形大学 柿崎様から講評をいただいたことで、活動をとおして得られた学びや課題を再認識し、今後の活動に取り組んでいく意欲が高まりました。

山形市では、女性活躍について女性自らが考え、実践する活動を支援してまいります。



してまいります。



まち、わたし、きらめく

山形市では、令和4年度から(株)資生堂、(株)Ridiloverと公民連携による女性人材育成事業を
今年度は、2期生19名が自らの企画により『若年女性の地元定着』『企業内DX推進』『企業
しました。女性活躍推進のための活動の輪が少しずつ広がっています。社内で女性活躍を進め

『Action Day』



女性活躍に関連したイベントを男女共同参画センター「ファーラ」など3会場で実施しました。参加者の皆様と共に「女性活躍」について学び、改めて女性自らが女性活躍について考え、取り組みを実施することが必要であると再認識することができました。

1月25日(木)『活動発表会』



佐藤 山形市長



資生堂ジャパン株式会社
プレステージ事業本部 東日本支社
営業・美容サポート統括部長
脇 伸幸 様

1期生の取組

昨年度、この事業に取り組んだ1期生も活動を継続しています。
山形市では、2期生だけでなく1期生の取組みも支援し、「女性が輝くまち山形」を目指



令和5年度 フェアラー開催講座

「男女共同参画のまち山形」の実現をめざし、第4次山形市男女共同参画計画「いきいき山形男女共同参画プラン」（計画期間：令和4年度～令和8年度）に基づいて、男女共同参画の推進のため、各種講座を実施しております。

男女共同参画宣言都市記念講座 6月30日(金) //

紫式部の社会を見る目 —漢文学から得たもの—

講師：東北文教大学短期大学部 名誉教授 熊谷 義隆 氏

参加された方からは、「源氏物語と漢文学とのつながりが手に取るようにわかり、楽しかった。」「紫式部の人となり、考え方がよくわかり、源氏物語の理解も深まった。」などの感想が寄せられました。



健康講座 8月26日(土) //

ずっと動ける体づくり ～座ってできるタキミカ体操～

SUKSK
ポイント
対象講座

講師：株式会社パワーエイジング 代表取締役社長 中沢 智治 氏

家で過ごしている時間が多く、運動が苦手な方でも無理せずに行えるストレッチを体験しました。椅子に座って背骨、肩甲骨、股関節をほぐす。歯磨きしながら足の上下運動。入浴中の足のストレッチなど、日常生活の導線の中でできる「ながらストレッチ」は頑張らなくてもできると好評でした。

運動するときは心と一緒に動く事。やりたくない時はやらない。心が動けば体も動く。そのルールさえ守れば楽しくできるし、他の事にも興味を持つようになる。自然と笑顔も増える。「年令はただの数字。さあ始めようパワーエイジング!!」





働く女性の講座 10月12日(木) // //

プレゼン資料作成ソフト入門

講師：山形市商工観光部産業政策課働きやすさ追求室 企業DX推進官 橋本 和則 氏

働く女性や再就職を希望する女性のスキルアップを図るため、橋本企業DX推進官による講座を開催しました。参加者からは「丁寧に説明していただき、わかりやすかった」「難しいと思い込んでいたことが、受講して自分でも作成できた」などの声が聞かれ、大変好評でした。



男性向けビューティー講座 10月14日(土) // //

すぐできる!ゼロから始める男性のスキンケア&ヘアスタイリング術～実践編～

講師：資生堂ジャパン株式会社東日本支社
ソーシャルエリアパートナー 佐藤 真理子 氏

女性活躍推進だけでなく、男性も活躍できる社会を目指し、まずは身だしなみを整えることから始めよう!とセンター初の男性向け美容講座を実施しました。参加者からは、「眉の書き方やワックスの使用方法など初めての経験ができた」「すぐにでも実践してみたい」などの声が聞かれ、笑顔が絶えない講座となりました。



小・中学生学習資料「きらりかがやいて」を発行しています

山形市では、性別にとらわれずに、一人の人間として尊重され、個性と能力が生かされる豊かな社会づくりを推進するため、男女共同参画学習資料「きらりかがやいて」を作成しています。

令和5年度も市内の全小中学校に配付し、男女共同参画に関する学習資料として活用いただいております。



小学1年生用



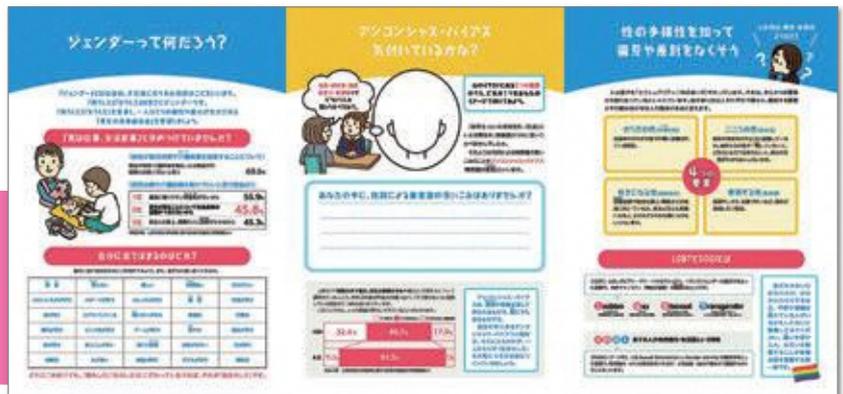
小学4年生用



中学1年生用



特に、中学1年生用の学習資料については、「男女相互の理解と協力」、「ジェンダーと多様性（LGBT）」をテーマとし、多様な性に関する基礎知識などをわかりやすく記載しています。



多様な性に関する正しい知識の普及に努めています

「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されました。この法律は、全ての国民がその性的指向又はジェンダーアイデンティティにかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであることを基本理念にしています。山形市におきましても、引き続き多様な性に関する当事者の方々に寄り添った支援を行ってまいります。



◀ 「多様な性を正しく理解しよう」リーフレットを作成



男女共同参画に関するお知らせ

男性の育児休業が取得しやすくなっています！

令和4年10月1日から、産後パパ育休（出生時育児休業）制度の創設、育児休業の分割取得が可能になるなど、これまでよりも柔軟に取得することができるようになりました。男性の育児休業を推進し、仕事と家庭を両立しながら、誰もが活躍できる職場を目指しましょう。

	産後パパ育休 (育休とは別に取得可能)	育児休業制度
対象期間 取得可能日数	子の出生後8週間以内に 4週間まで取得可能	原則子が1歳 (最長2歳)まで
申し出期間	原則休業の2週間前まで※	原則1か月前まで
分割取得	分割して2回取得可能 (初めにまとめて申し出ることが必要)	分割して2回取得可能 (取得の際にそれぞれ申し出)
休業中の就業	労使協定を締結している場合に 限り、労働者が合意した範囲で 休業中に就業することが可能	原則就業不可
1歳以降の延長		育休開始日を柔軟化
1歳以降の再取得		特別な事情がある場合に限り、再取得可能

※雇用環境の整備などについて、今回の改正で義務付けられる内容を上回る取り組みの実施を労使協定で定めている場合は、1ヶ月前までとすることができます。

なお、第4次山形市男女共同参画計画においては、令和8年度までに市内事業所における男性の育児休業取得率を30%とする目標を掲げております。

男性の育児休業促進などに関する社内研修会等の開催を検討されている事業所様につきましては、講師を派遣する事業も行っていますので、ぜひご活用ください。(詳細は市ホームページをご覧ください。)

山形市内事業所における男性の育児休業取得率

現在(直近)の状況		目標値
年度	数値	令和8年度
令和元年度	20.9%	30%

※令和元年度「山形市男女共同参画に関する事業所の意識及び実態調査」より



「男女共同参画週間」と「女性に対する暴力をなくす運動」期間に啓発パネルを展示しました

「男女共同参画週間」(6月23日から6月29日)と「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日から11月25日)に合わせて、山形市役所と男女共同参画センターにて展示を実施しました。今後も、性別にかかわらず誰もが活躍できる社会、暴力のない社会を目指し、啓発活動を実施してまいります。



令和5年度 男女共同参画宣言都市事業 「男女共同参画に関する一行詩」 審査結果

大学・一般の部 応募総数145作品

最優秀賞

「女性でその仕事に
就くなんて聞いたこと
ない。無謀だよ。」
そう。
それならちよつどいい。
女性として一番乗りにな
ってみせる。
そして、そんな言葉、
もう言わせない。

大橋 茉透衣
(山形大学)

優秀賞

私の友人は女性だ
私の友人は男性の心を
もっている
私の友人は性別問わず
みんなと仲がいい
私の友人は
自分を偽らない
私の友人は
とても素敵な人だ
そんなあなたに
私はなりたい

安達 謙太
(東北文科大学)

優秀賞

『かわいい我が子の成長を
見逃してなるものか』
と働きながら
育児に奮闘した父。
そんな父を
「世界一の父親」と
嬉しそうに語る母。
そんな母を見て私もまた
『世界一の父親』に憧れる。

藤原 駿
(東北文科大学)

中学・高校の部 応募総数808作品

最優秀賞

全てを理解することは
難しくても
理解しようとする
心があれば
もっと見える世界が
広がっていく。

佐々木 遥
(山形北高3年)

優秀賞

お母さんが
いそがしい時には
お父さんが
お父さんが
いそがしい時には
お母さん
何も言わずに
家事をしている
私の家族にありがとう。

調所 優有
(第五中3年)

優秀賞

料理を作るのが
得意なのは母
ケーキを作るのが
得意なのは父
得意、不得意あるなら
分担しながら
やればいい
まかせ、
まかせ、
まかせ、
男女共同参画

佐藤 あゆむ
(山大附属中3年)

優秀賞

一人ひとりの「好き」
一人ひとりの「得意」
みんな色は違うけど、
違うからこそ
新しい色になれる
私達のこの手と手を
とりあって
色で溢れる素敵な未来を
みんなでつくっていきこ

渡邊 姫空
(山形西高1年)

たくさんのご応募
ありがとうございました!



令和5年度
「男女共同参画に関する一行詩」
入賞作品集のホームページはこちら

編集後記

編集協力員を始めた頃、まだ年少だった息子はこの春中学生になる。初めての取材当日に発熱し急きょ予定を変更してもらったこと、講演会や取材先にも連れて行ったことが思い出される。周りで支えてくださったみなさまには感謝しかない。また、取材先や編集後記の話題を提供してくれていたのも息子だった。今回取材させていただいた大垣敬寛さんの探究教室ESTEMも息子が夢になっている場所である。穏やかに話しされるその姿は人の心をつかみ、大垣さんの魅力に引き寄せられる。子どもたちが夢になる気持ちがあるような気がした。「とりあえず、やってみる!」新たなスタートを切るこの春にたくさんの人に届くことを願う。
(編集協力員 山下みどり)

このたび取材をさせていただき、お二人とも軽やかに生きていらっしゃることを実感した。概念や常識にとらわれることなく、まずは、何らかのアクションをおこす。その中で、柔軟に対応する姿を見て、時代の変換期なのかもしれないと思った。ほんとうの自分を知ること、相手の個性も認めあえる。そんな時代の変換期に私たちが生まれ生きている。そこから繋がりあっていけば、山形市男女共同参画プランの7つの基本理念が達成できるのではないかと感じた。今後も何らかの形で、山形市の男女共同参画に協力させていただきたいと思う。取材同行や取材の機会をいただいた事に、心より感謝する。
(新編集協力員 大津 藤子)

- 男女共同参画情報紙「フェアラ」は、以下の場所で配布しています。
男女共同参画センター「フェアラ」、市役所(1階刊行物コーナー・市民課待合フロア)、霞城セントラル内の市の施設、市の公民館、コミュニティセンター、市立図書館
- 男女共同参画情報紙「フェアラ」は、インターネットでも見ることができます。(山形市HPで「フェアラ」で検索してください。)
- 読んでご感想・ご意見などがありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。